

県の行政改革に期待します



県行政改革審議会会長 稲垣精一さん (肥後銀行頭取)

残された2年間の計画期間で、「第二次行政改革大綱改訂版」に掲げられた方策を着実に推進されるよう期待しています。

特に、中長期的な視点に立ち、財政の健全化、定員の適正管理に、より一層取り組んで欲しいと思っています。

また、メリハリの効いた、積極的にスピーディな取り組みを期待しています。



(財)県立劇場評議員 石原徳子さん (フランス菓子教室いしはら 主宰)

県の行政改革が「仕事の革新」をテーマにしている点は、評価しています。

今、企業は生き残りを賭けた努力を続けています。県もコスト意識とサービス精神を徹底し、改革を進めて欲しいと思っています。肥大化しがちな組織を常に見直すことはもちろん、行政サービスの向上や女性の社会参加を進めるうえでも、県の果敢な行動を期待しています。



よろしくお願いします

新副知事・出納長のご紹介

知事の補佐役となる副知事と出納長が、3月県議会で同意され、就任しました。



このののお 出納長 河野延夫

「県政の力づよい発展を目指して、県民の負担に応えられるよう、予算の適正かつ効率的な執行に力を注ぎます。」林務水産部長を経て、平成7年から現職。再任



しおたに よしこ 副知事 潮谷義子

「県民の皆様が、県政を身近に感じていただけるよう、微力を尽くします。」昭和59年から県内の児童福祉施設長。民間及び女性の副知事は本県で初めて。

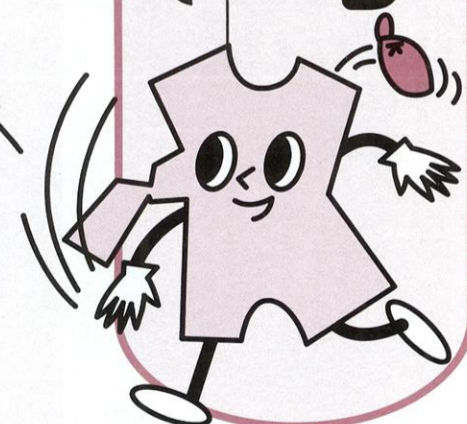


仕事の成果がしっかりと県民の皆さんに届くよう、全力で行政改革を進めていきます。ご理解とご協力をお願いします。

特集

行政改革に全力投球

県民や地域の立場に立って、仕事の成果を重視する行政を目指して



県では、県民や地域の立場に立って、仕事の成果を重視する行政の実現を目指して、第二次行政改革を推進しています。昨年末には、社会状況の変化などを踏まえ、「第二次行政改革大綱」の徹底した見直しを行いました。



県庁新館1階の情報プラザ

活力に満ちた地域社会を築きあげていくため、今後とも行政改革に全力を注ぎます。今回の特集1では、その取り組みについてお知らせします。

これまでの取り組み

県では、昭和六十年から平成二年までの第一次行政改革の中で、職員定数の7%削減、事務事業の見直し、民間委託・OA化の推進など、行政のスリム化に取り組み、一定の成果を収めました。

をはじめとした社会経済情勢の変化に対応するため、「第二次行政改革大綱」の徹底した見直しを行い、改訂版をとりまとめました。「透明性の高い開かれた県政の推進」などの新たな方策を盛り込むと同時に、取り組みの目標をできる限り数値化するなど、県民の皆さんにわかりやすい行政改革を目指しています。

第二次行政改革の基本的考え方

県民や地域の立場に立った「成果重視型行政」の実現を目指して、「第二次行政改革大綱」を策定し、仕事の革新、県民サービスの向上など六項目を柱として行政改革に取り組んできました。

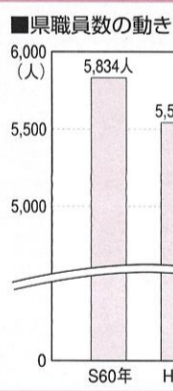
第二次行政改革大綱の体系(改訂後)

Table with 2 columns: Reform Area (e.g., Work Process Innovation, Citizen Service Improvement) and Key Objectives (e.g., Enhance policy effectiveness, improve citizen services).

4 職員数の抑制及び適正配置

中長期的な視点に立った計画的・合理的な定員管理を進めるとともに、職員の適正配置を行います。

これまで行ったこと
●組織の廃止・改編や終期を設定した職員配置などにより、職員数の徹底した抑制と適正配置に努めました。



今後の主な取り組み
●平成十五年までに条例定数(五、九九一人)の一〇〇%程度を減じた五、三九一人の職員数を目標とします。

5 透明性の高い開かれた県政の推進

県政を身近で分かりやすいものとし、県政の透明性の一層の向上を図ります。

これまで行ったこと
●情報公開条例を改正し、県の説明責任を明記することにも、請求権者の範囲を広げるなど、内容を充実させました。

6 女性の意見をより一層県政へ反映

男女が共に参画する社会を実現するため、より一層女性の意見を県政に反映させるようにします。

これまで行ったこと
●初めて副知事に女性を起用することにも、県の各種審議会への女性登用を進めました。

今後の主な取り組み
●引き続き、県の各種審議会への積極的な女性登用を進めます。

知事室から



熊本県知事 福島謙二

四月を迎え、新たな気持ちで生活をスタートされた方も多いことと思います。私も、先の選挙において多くの県民の皆様方から御支持をいただき、三期目の県政をスタートすることにいたしました。県民の皆様方の期待の大きさと、県政をお預かりする責任の重大さを、改めて痛感しています。

今後の県政の方向としては、「活力にあふれ、こころ豊かな熊本」を実現するための「五つの鍵」、具体的には、「経済・景気」「基盤」「子どもから高齢者まで」「環境」、そして、県民の皆様や地域との「協働」を重点として取り組んでいきたいと考えています。

中でも、当面の課題として、景気・経済のたて直しに全力を尽くして参ります。行政改革も、真剣に取り組まなければなりません。いよいよ今秋開催される「くまもと未来団体」「ハートフルくまもと大会」については、心温まる、熊本ならではの素晴らしい大会となるよう、県民の皆様と一丸となって盛り上げていきたいと思っております。

また、この度、副知事に、児童福祉施設長として活躍してこられた潮谷義子さんに就任いただきました。今後ますます重要な問題となる福祉、環境、教育をはじめと、県政全般に新風を吹き込んでいただくことを期待しています。目前となった二十一世紀に向けて本県がさらに発展するよう、しっかりとした基礎固めに全力で取り組む決意です。今後とも、皆様のご協力をよろしくお願い致します。